



坊っちゃん石鹼の工場を見学しよう



早いもので、今年も残すところあと僅かとなりました。近所のスーパーのディスプレイも、ちょっと前にハロウィンのカボチャが賑やかに踊っていたと思えば、あつという間にクリスマスカラーに衣替え。それが終われば正月と、何とはなしに気を急かされるような季節です。

さて、今年のNHKの大河ドラマもついに最終回を迎えるました。人物描写に優れた脚本と、毎週翻弄されながら楽しんだ1年。筆者は現在、いわゆる「大河ロス」状態なのですが、改めてこの時代を再勉強していると、今まで何度も足を運んでいた場所が平家ゆかりの地だったことを知りました。

それが「定義さん」でお馴染みの「定義如来西方寺」。これまでいかに自分が不勉強だったか反省しきりです。

治承2年（1178年）、平重盛の重臣であった平貞能は、重盛から阿弥陀如来の掛け軸を託されます。壇ノ浦の戦いに敗れた後、この地に隠れ住んだ貞能。名も「定義」と改めます。その後、宝軸は墓上に作られたお堂に納められ、時を経て、宝永3年（1706年）に末裔である早坂源兵衛が創立した「極楽山 西方寺」の御本尊として祀られました。

境内には他にも、安徳天皇の遺品が眠る「天皇塚」があります。安徳天皇といえば、大河ドラマでも描かれた壇ノ浦の戦いのクライマックスで、わずか6歳で世を去った悲運の天皇。その姿を思い出すと、やるせない想いが募ります。せわしない時期ですが、ゆかりの地で彼らが駆け抜けた時代に想いを馳せてみるのも良いかもしれません。もちろん、あつあつの三角揚げをおともに。

今回の表紙
定義如来西方寺
(仙台市)



奥に見えるのが貞能の墓の上に作られた「御廟貞能堂」

貞能公と定義さん

早いもので、今年も残すところあと僅かとなりました。近所のスーパーのディスプレイも、ちょっと前にハロウィンのカボチャが賑やかに踊っていたと思えば、あつという間にクリスマスカラーに衣替え。それが終われば正月と、何とはなしに気を急かされるような季節です。

さて、今年のNHKの大河ドラマもついに最終回を迎えるました。人物描写に優れた脚本と、毎週翻弄されながら楽しんだ1年。筆者は現在、いわゆる「大河ロス」状態なのですが、改めてこの時代を再勉強していると、今まで何度も足を運んでいた場所が平家ゆかりの地だったことを知りました。

それが「定義さん」でお馴染みの「定義如来西方寺」。これまでいかに自分が不勉強だったか反省しきりです。

治承2年（1178年）、平重盛の重臣であった平貞能は、重盛から阿弥陀如来の掛け軸を託されます。壇ノ浦の戦いに敗れた後、この地に隠れ住んだ貞能。名も「定義」と改めます。その後、宝軸は墓上に作られたお堂に納められ、時を経て、宝永3年（1706年）に末裔である早坂源兵衛が創立した「極楽山 西方寺」の御本尊として祀られました。

境内には他にも、安徳天皇の遺品が眠る「天皇塚」があります。安徳天皇といえば、大河ドラマでも描かれた壇ノ浦の戦いのクライマックスで、わずか6歳で世を去った悲運の天皇。その姿を思い出すと、やるせない想いが募ります。せわしない時期ですが、ゆかりの地で彼らが駆け抜けた時代に想いを馳せてみるのも良いかもしれません。もちろん、あつあつの三角揚げをおともに。

协会会员が、会员さまの職場にお邪魔して、ふだんのお仕事ぶりを拝見、実際に体験させていただく「物振協の社会科見学」の第二弾。

今回私たちが向かった先は、名取市愛島台にある「畠惣商店」さんの名取工場です。

畠惣商店さんの代表商品といえば、宮城県民ならきっと誰もが一度は目にしたことがある、このちょっとトレロなパッケージ。そう、「坊っちゃん石鹼」を製造、販売している会社です。

畠惣商店さんの代表商品といえども、赤ちゃんでも安心して使えるやさしさと、身体に、洗顔に、洗濯に、食器洗いにと、何にでも使える抜群の洗浄力。「洗う」ことにとことん向き合った丁寧に作られた石鹼は、長きに渡ってたくさんの人に愛され続けてきました。

近年では人気アイドルグループやお笑い芸人からのオーダーによるオリジナルパッケージも話題に。その魅力は、一体どんな場所で、どんな方たちによつて生み出されているのでしょうか。

特ににおいて、工場見学させていただいた様子をお伝えします！



パッケージのイラストは、「坊っちゃん石鹼」のルーツである東北石鹼さんの創業者が描いた、息子さんの似顔絵を基にしているのだそう。

写真提供：宮城県観光プロモーション推進室